

# なかつか 亮



2013年12月1日(日)

NO418

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

## どこが防災対策?! 武蔵小山に超高層ビルが2棟目 区民が望まない再開発マンション建設は中止し

# 住民参加で防災まちづくりを



武蔵小山駅前

41階

再開発マンション

庶民の街 武蔵小山  
武蔵小山の住民からは「ここは人と人とのふれ合う庶民的な街。高層化なんて誰も望んでいない」と話します。一方、品川区は「老朽住宅が密集」「緑が少ない」などをあげ規制を緩和し超高層ビル

の建設へ。目的を「防災対策」と説明します。**超高層が防災??**  
本当に狙いは防災なのでしょうか? 超高層ビルは震災時の電気、ガス、水道などライフライン遮断で、住民生活の継続困難が指摘されています。裏

2棟目となる武蔵小山駅前の超高層ビルが、11月19日に開催された区審議会にて、賛成多数で都市計画決定へ。共産党は「武蔵小山らしさが壊れる。高層化のどこが防災対策か」と唯一、反対しました。地域コミュニティを壊す、巨大大路や超高層ビルが防災の名で加速。共産党は「街を壊さない別の方法がある」と対案を掲げています。

### 計画概要

◆武蔵小山駅東地区再開発計画◆145衾 41階建て◆低層2階まで商業テナント◆3階以上にて住宅410戸



現在の武蔵小山駅前。ここに41階建て再開発マンションを建設とは...

## トイレ排水問題

区は超高層ビル建設を進める一方、高層マンション防災対策を区民に呼びかけています。

区は対策で高層マンション被害の特徴を①長く大きな揺れ②ライフライン停止で高層階の住民が難民に③帰宅困難者の大量発生④復旧過程で起こるトラブルなどを指摘。「トイレの排水問題は特に深刻。溜め置きの水も流してはいけない」とし東日本大震災の事例をあげ「排水管の破損があったことに気付かず上層階の住民が流した汚水が下層階で逆流、溢れ出し被害になった例が複数発生。たとえば水道が止まらなかったとしても、大地震の直後はトイレに水は流さ

ず設備の状況等が確認されるまでの間は、災害時の簡易トイレなどを使うことをお勧めします」と示しています。

マンション住民に防災対策を呼びかける事はとても大切ですが、防災を理由に超高層ビルを増やすとは、やはりおかしいです。

結局のところ防災は口実で、狙いはゼネコンの仕事づくりではないでしょうか。

### 別の方法があります

本来に防災と言うのなら対策は、超高層ビルではなく木造住宅の耐震化や建て替え支援、公園整備、避難所整備など別の方法あります。地域コミュニティを壊す計画では街の地域防災力を弱めるだけです。なかつか亮



品川区の防災対策手引き、ハンドブック



左は、品川区が作成した高層マンション防災対策のパンフ。右は「避難所もいっぱい困ったわ...」「水がないとミルクが作れないわ」は区パンフより抜粋です。今後、各マンション戸建に区の全戸配布が予定されています。是非、ご覧ください。



## 噂の東京マガジン 29号線問題 放送されました

放送を録画しましたので、一緒に見ませんか？



### 次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

12月20日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231